

内部障がい者に安心を

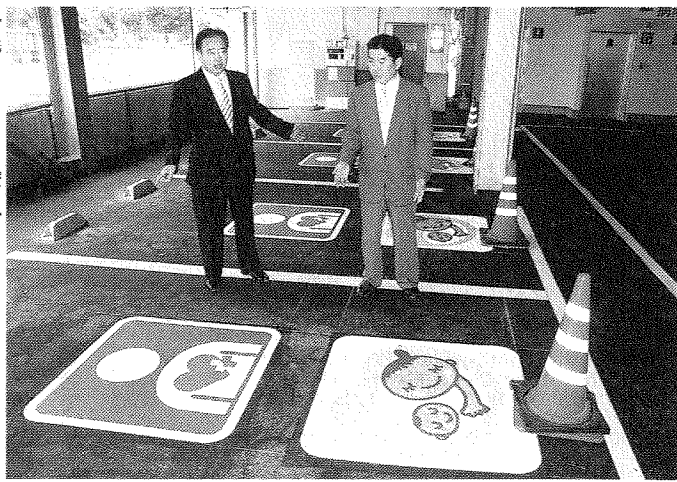
県立病院 駐車場に 待望の優先スペース確保

青森県

青森市の県立中央病院の立体駐車場内にてこのほど、内部障がい・内臓疾患を示すハート・プラスマークと、マタニティマーク表示入りの駐車スペースが5台分整備された。心臓、腎臓機能など体内に障がいがある人や妊婦などから喜ばれている。

2008年11月に開設された同駐車場では、これまで車イスマークのあるスペースが10台分確保され、そのうち3台分には妊婦への配慮を求めるマタニティマークも表示されていた。しかし、ハート・プラスマークは表示されておらず、内部障がい者から対応を求める声が上がっていた。

このため、かねてからハート・プラスマークの普及に取り組んできた公明党の伊吹信一県議は、同病院の運営部に整備を要請。その結果、これまでであった



県立中央病院の駐車場を視察する伊吹県議と山本氏

このほど、同駐車場を視察した伊吹県議は「今後も内部障がい者が暮らしやすい環境づくりを推進していく」と語っていた。視察には、党本部の山本武朝・県民運動局次長（青森市議選予定候補）も同行した。